

高山赤十字病院

病院の概要

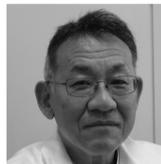
開設時期：大正11年11月1日
開設者：日本赤十字社社長 清家 篤
院長名：竹中 勝信
病床数：394床
標榜科：内科、呼吸器科、消化器科、血液内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、精神科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、病理診断科
医師数：83名
指導医師数：36名
外来患者数：827名/日
入院患者数：286名/日
所在地：高山市天満町3-11
URL：http://www.takayama.jrc.or.jp/



病院の特徴

【高山赤十字病院】は令和4年（2022年）に創立100周年を迎えた、岐阜県北部の歴史ある総合病院です。昭和56年（1991年）に臨床研修病院に指定されて以来、多くの医師を育ててきました。東京都の2倍という広大な医療圏を守る中核病院としての当院のミッションは、高度な急性期医療を行うことです。飛騨地域では唯一の救命救急センターを整備。また回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、介護老人保健施設を併設。地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院ほか多くの指定を受けています。多様な機能を生かして地域の超急性期から慢性期医療、終末期医療と、地域完結型を基本とした医療を提供しています。

院長メッセージ



竹中勝信
(脳神経外科)

当院は今年創立102年を迎えた歴史ある病院です。飛騨地域の中核病院として急性期医療を担い、地域住民から大きな信頼と期待を寄せられてきました。救命救急センターのほかに、回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟、介護老人保健施設も併設し、超急性期から慢性疾患に至るまで、発症時からの一貫したプライマリケアを体験できます。研修医は指導医のもと年間3000件超の救急搬送に副当直として対応し、多くの救急疾患を学ぶことができます。一方、病棟においては経験豊富な熱意ある指導医によるきめ細かい指導を受けられます。また、研修医による自主勉強会では、通常遭遇する病態・疾患についてプレゼンテーションを行い、他の研修医、指導医と活発な議論を行うほか、各部署の勉強会にも気軽に参加することができます。このように年間を通じて学習機会が多く、充実した臨床研修を受けられるように積極的な支援を行っています。飛騨高山には、美味しい郷土料理や温泉もあります。地域の魅力に触れながら医師としての第一歩を踏み出してみませんか。大いに歓迎致します。

指導医メッセージ

高山は、世界中から多くの観光客が訪れる国際都市で救急外来にも外国人が多く受診します。また、研修2年目には、姉妹都市であるアメリカコロラド州デンバーの病院研修を選択でき、必然的に国際感覚が身につけられます。研修の最大の特徴は、症例ごとに研修医自ら考え医療行為を行う「ひとりの責任ある医師」として、患者さんからもスタッフからも扱われるところにあります。また、飛騨地域唯一の救命救急センターで広大な二次医療圏内の数多くの急性期、慢性期疾患を当院で経験することができます。2004年からの新臨床研修医制度では約90名の研修医が有意義な研修を積んで岐阜県内、全国に巣立ち活躍しています。さらに岐阜大学との専攻医プログラムと連携を取り、若い時期に多くの貴重な症例を経験することができます。飛騨地域の救急医療や新規感染症、災害に対応できる新病院を建設する計画を進めています。一度見学してみませんか？

研修医メッセージ

スーパーローテーションでプライマリ・ケアを身に付けるには、この病院がお勧めです。各科の壁が非常に低く風通しが良いので、コンサルトしやすい環境が整っています。上級医の先生も教育に熱心な先生が多く、お忙しい中快く何でも教えてくださいと安心して研修できます。救急の副直業務では、1次から3次救急まで幅広い疾患を見ることができ、当直の内科系と外科系医師に困ったらすぐ相談をして、責任ある指導が得られます。メディカルスタッフと医師の仲がよいのも特徴で、ベテランの看護師、薬剤師・技師さんに何度もピンチを救ってもらっています。高山は人情豊かな地で、患者さんにも助けられて充実した研修を進めることができます。研修医が都会の病院に集中する傾向がありますが、自分が医療スタッフの1人として責任を持って診療できるのは、当院ならではの醍醐味です。

研修スケジュール

一般プログラム	1年次	25週 内科			8週 外科	4週 小児	12週 救急科
	2年次	4週 産婦人科	4週 精神科	4週 地域医療	41週 選択科		
地域医療重点プログラム	1年次	25週 内科			8週 外科	4週 小児	12週 救急科
	2年次	4週 産婦人科	4週 精神科	12週 地域医療	33週 選択科		

○救急科：脳神経外科、整形外科、麻酔科に所属し救急対応を研修します。
○選択科：当院の全診療科、協力病院・施設にて、各自の進路、希望に合わせて研修を行います。

研修協力病院・施設

特定医療法人生仁会須田病院	飛騨市民病院	朝日診療所	高桑内科クリニック
日赤愛知医療センター名古屋第一病院	清見診療所	高根診療所	河野ファミリークリニック
日赤愛知医療センター名古屋第二病院	荘川診療所	久々野診療所	飛騨保健所
鳥取赤十字病院	白川診療所	岐阜ハートセンター	岐阜県赤十字血液センター
JA岐阜厚生連飛騨医療センター久美厚生病院	高山赤十字病院老人保健施設はなさと	岐阜大学医学部付属病院	富山大学附属病院
郡上市民病院	Mこころクリニック	ひだ在宅クリニック	岐阜県立下呂温泉病院

後期研修・専門研修

○幹幹プログラム：内科（定員5名）…岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、松波総合病院、岐阜ハートセンター、久美愛厚生病院、飛騨市民病院、日赤愛知医療センター名古屋第一病院、日赤愛知医療センター名古屋第二病院、東京都立多摩総合医療センター、岐阜赤十字病院と連携して専門研修を行っています。
○連携プログラム：16領域は、岐阜大学医学部附属病院と連携して当地域での特徴的な疾患などを経験できます。一部の領域では、岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、松波総合病院、日赤愛知医療センター名古屋第一病院、日赤愛知医療センター名古屋第二病院、東京都立多摩総合医療センターの連携施設にもなっています。

研修プログラムの目標

幅広い臨床能力を修得し、日常よく遭遇する疾患に対するプライマリケアの修得と、将来、地域医療に貢献することを重視する医師が、地域医療において必要な診断、治療上の基礎的知識、技能を得るとともに、研修医時代に医師としての基本が形成されることから、臨床能力のみならず人格の涵養も大切で、人間味ある臨床医を目標とする。

研修プログラムの特徴

医師少数区域の飛騨地域にあり、中核病院としての役割を期待されています。このため救命救急センターを併設し1次から3次までの救急を担当しています。さらに一般病棟のみならず、回復期病棟、老人保健施設を有し、超急性期から急性期、慢性期、回復期、高齢者医療まで幅広いプライマリケアの修得が可能です。一貫した研修体制の下で垣根のない指導が受けられ、41週（地域医療重点プログラムは33週）は研修医の希望により診療科を選択し、幅広く研修を行います。

募集要項

応募資格：令和8年3月に医師免許を取得する見込みである者
募集人員：8名
身分：研修医（常勤嘱託）
基本給：1年次年収 約750万円
2年次年収 約900万円
(基本給・賞与・諸手当を含む)
住居等：宿舍あり 医師住宅家賃補助あり
保険等：健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険

連絡先

電話番号：0577-32-1111 教育研修課
fax：0577-32-6802
E-mail：dr_kenshu@takayama.jrc.or.jp

交通案内



JR高山駅から徒歩8分